





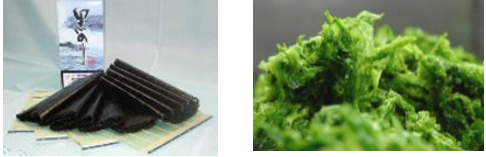

第 44 回全国豊かな海づくり大会基本計画骨子【暫定版】策定に向けた

「御放流魚」及び「お手渡し魚」の選定(案)について

1. 御放流魚(案)

<p>【マダイ】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・伊勢湾から熊野灘にかけて沿岸域に広く分布し、本県では、主に定置網や一本釣り、小型底びき網、まき網、バッチ網・船びき網などで、年間約 200 トンが漁獲される。 ・栽培漁業対象種として、本県では昭和 63 年以降種苗放流が実施され、ピーク時には 170 万尾が放流されている。
<p>【マハタ】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・「幻の高級魚」とも呼ばれ、県南部地域で養殖が行われている。 ・種苗生産量は全国シェアの 8 割(令和3年)を占めている。

2. お手渡し魚(案)

<p>【イセエビ】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・鳥羽市以南の岩礁域に生息し、主に刺網漁で漁獲される。 ・全国第2位の漁獲量(令和3年)を誇るなど、県を代表する水産物で、県や市の魚に指定されている。
<p>【アコヤガイ】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・英虞湾を中心に養殖業が発達し、発祥の地として名声を高めてきた。(令和3年) ・伊勢志摩地域では、養殖から加工・販売に至る裾野の広い産業が発達している。
<p>【ノリ】</p>  <p>クロノリ ヒトエグサ(アオサ)</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・クロノリは、伊勢湾各地において養殖が行われており、伊勢湾を代表する漁業の一つとなっている。 ・ヒトエグサは、県内各地の沿岸域で養殖が行われ、生産量は全国一となっている。
<p>【アユ】</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・県内の河川に広く分布している。 ・友釣りの対象魚として内水面の最重要魚種となっており、種苗放流が行われている。